

# もりのみやキューズモール BASE

MORINOMIYA Q's SMALL BASE

No. 13-049-2017作成

新築  
物販

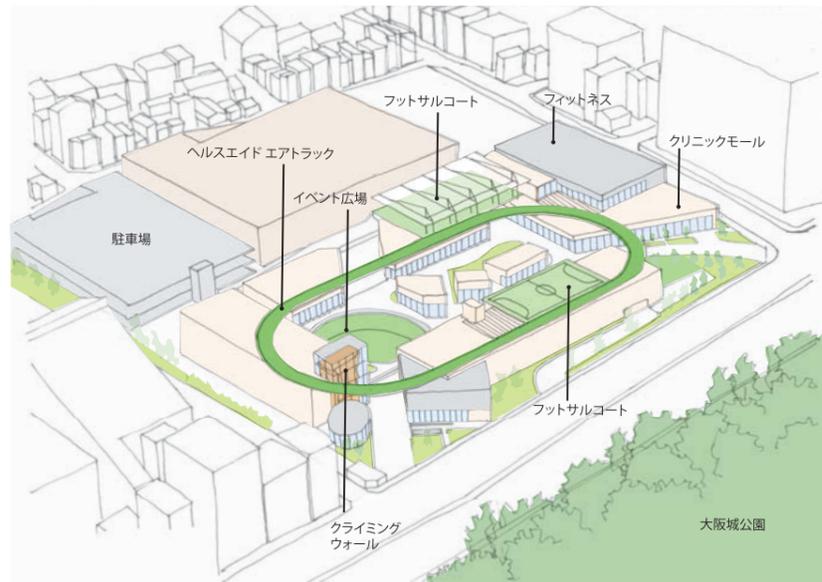
発注者	東急不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB			
設計・監理	株式会社竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION		E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携			
施工	株式会社竹中工務店		I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他			

## 空中に設けられたランニングトラックを持つオープンモール

大阪城公園の南側にある日本生命球場の跡地に建つショッピングモールの計画である。計画地である森ノ宮は、JR環状線、地下鉄中央線、地下鉄長堀鶴見緑地線が接続し、郊外から1日3万人を超える通勤者の利用がある交通の要所であり、郊外と都心の結節点となっている。また都心の居住エリアとして、巾広い世代が生活する良好な住宅地でもある。近接する大阪城公園には、海外からの観光客も含め年に125万人が訪れる一方、関西におけるランニングのメッカとして数多くのランナーが遠方からも訪れる場所となっている。こうした多様化する都市居住者のニーズに応える新たな活動の場としてのショッピングモールのあり方を考えた。モノやサービスを「売り買い」する場に留まらない、地域に開かれた公園のような施設。これにより、地域の核として新たな人の流れをつくり出し、多様な都市居住者が互いに刺激し合える環境づくりを行った。さまざまなアクティビティや交流、知的好奇心の充足など、それぞれの「豊かな生き方」の追求という新たな価値を提供する”場”を実現した。



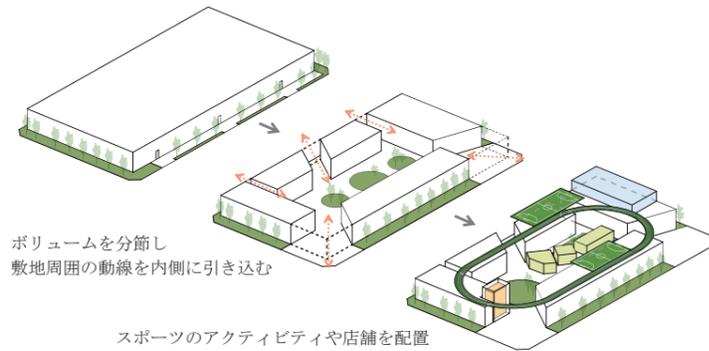
北東エントランス



アクソメ

## 豊かに生きるコミュニティのハブをつくる

施設全体をオープンモールとし、周辺からのアプローチ動線を多方向に設けることで、街行く人々を自然に内部へと導く動線計画とした。共用部としての外部空間は、緑豊かな中庭とし、公園のように地域の憩いの場として利用されることを意図している。さらに地域に開かれた無料のランニングコースとして、施設の上空に、建物のボリュームをつなぐ300mの「ヘルスエイド エアトラック」を配置し、その周囲に、フットサルコートやクライミングウォールといった複数のスポーツ施設を配置することで、利用者が多彩なアクティビティに触れられる空間が広がっている。エアトラックを走るランナーや、スポーツ施設の利用者、買い物客など多様な都市居住者が交流し、お互いに刺激しあうことで、この施設が感性を刺激する豊かなコミュニケーションの場となることを期待している。また、この施設には、市民参加型コミュニティ・ライブラリーや、トップアスリートが心身の健康づくりに役立つアドバイスを提供する施設等が入居し、心身の健康に加えて、心の健康もサポートし、心豊かなコミュニティづくりを支えている。



## ダイアグラム



エアトラックから2階メインストリートを見る



エアトラック



西側からエアトラックを見る



施設東側からの鳥瞰

## 設計担当者

建築：竹中工務店 合田靖、藤原治哉／構造：松本忠史、池内邦江、設備／花田博、外構：空間創研 荘田隆久、福田祥子／照明デザイン：ぼんぼり光環境計画 角館まさひで

## 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化、地域郷土種への配慮)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (空間提供、豊かな中間領域の形成)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (建築緑化、地域の歴史に配慮したデザイン)

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減	Aランク
所在地	ERR (CASBEE準拠)	BEE=1.5
竣工年	LCCO <sub>2</sub> 削減	2012年度版自治体提出
敷地面積		
延床面積		
構造		
階数		

